

ドル高と先端産業と自由貿易システム

クロダイインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

トランプ元大統領の先端産業の工場の国内誘致とともに、ドル高は、これら先端産業の競争力とその高い利益性が、金利差における国際資本流入とともに、富の占有を現実とする。自由貿易システムは、その絶対的な優位性を固定化するものである。

これらはグローバル経済におけるヒエラルキーの固定化なのである。また生活必需品である、食糧の供給環境は、これら新しい経済システムにおいて、富という価値を与えるのである。

これらは明らかに富の格差を創造する。巨大国際資本は真実において存在するのである。資本主義における世界の支配はこれらとともに存在するのである。

これらは明確に経済安全保障とともに、自己のプレゼンス以外を否定した、新しい国際システムの創造を現実としているのである。

これらは完全にユダヤ人種とアングロサクソンミッション、軍産複合体における新しい世界の創造なのである。

ウクライナにおける西洋陣営の先端兵器の優秀さは、もはや全ての戦意の喪失とともに、第3次世界大戦への突入を計画しているのである。

これらへの唯一の対処は、全ての情報の開示と革命戦争の蜂起しか選択はないはずである。

これらは、個別正義の相違性とともに、世界の分断を行うものである。